



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月2日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社戸上電機製作所
コード番号 6643 URL <https://www.togami-elec.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）戸上 信一
問合せ先責任者 （役職名）取締役上席執行役員 管理本部長 （氏名）仁部 和浩 TEL 0952-24-4111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	22,008	8.9	2,384	△0.5	2,579	△1.0	1,680	△7.5
2025年3月期第3四半期	20,201	1.7	2,394	27.9	2,604	24.3	1,816	26.9

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 2,204百万円（21.2％） 2025年3月期第3四半期 1,818百万円（2.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	352.22	—
2025年3月期第3四半期	371.66	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	32,437	23,738	72.3
2025年3月期	32,402	22,652	69.1

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 23,460百万円 2025年3月期 22,403百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	90.00	150.00
2026年3月期	—	60.00	—		
2026年3月期（予想）				70.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当 70円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	28,600	3.4	3,400	0.9	3,600	0.3	2,630	9.9	545.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	4,795,458株	2025年3月期	4,896,558株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	75,250株	2025年3月期	75,068株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	4,769,970株	2025年3月期3Q	4,887,513株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移いたしましたが、原材料・エネルギー価格の高止まりや中国経済の停滞、米国の通商政策による影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、DX推進等による生産性や品質の向上、主力製品の継続的なコストダウン、販売価格の適正化などに取り組んでまいりました。

その結果、配電盤の売上高は減少したものの、電子制御器や配電用自動開閉器の需要が好調に推移したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,008百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

損益面につきましては、原材料価格の高騰や人件費の上昇に伴い、営業利益は2,384百万円（同0.5%減）、経常利益は2,579百万円（同1.0%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,680百万円（同7.5%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①産業用配電機器事業

産業用配電機器事業の売上高は18,154百万円（同7.2%増）となりました。製品区分別の詳細は以下のとおりとなります。

（電子制御器）

電磁開閉器につきましては、取引先各社における在庫調整はほぼ解消し、海外向け需要の一部に復調の兆しがみられ、売上増となりました。

電力会社向け配電自動化用子局につきましては、一部の電力会社において次世代型への更新や配電設備強化の動きが継続したことなどにより、売上増となりました。

その結果、電子制御器全体の売上高は5,091百万円（同11.1%増）となりました。

（配電用自動開閉器）

主力製品である波及事故防止機器（通称SOG開閉器）につきましては、継続的に回復してきた需要に加え、各種コストアップに伴う適正価格への転換が徐々に浸透したことにより、売上増となりました。

電力会社向け配電用自動開閉器につきましては、次世代型への更新需要の拡大や配電設備強化の動きが継続したことなどにより、売上増となりました。

その結果、配電用自動開閉器全体の売上高は10,369百万円（同6.8%増）となりました。

（配電盤及びシステム機器）

配電盤につきましては、設備更新案件は増加したものの定期メンテナンス等の需要の減少により、売上減となりました。

システム機器につきましては、排水処理施設に関する新規工事案件数は減少しましたが、設備更新工事等の需要が増加したことにより、売上増となりました。

その結果、配電盤及びシステム機器の売上高は2,693百万円（同1.9%増）となりました。

②プラスチック成形加工事業

樹脂成形分野における部品等につきましては、自動車業界の需要が増加したことから、売上高は2,857百万円（同31.2%増）となりました。

③金属加工事業

金属加工における部品等につきましては、産業用機械の需要が減少したことから、売上高は926百万円（同3.7%減）となりました。

④その他

プラスチック成形加工事業に付随する金型加工やソフトウェア開発等につきましては、需要が減少したことから、売上高は69百万円（同42.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は20,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ588百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,208百万円減少したことによるものであります。固定資産は12,219百万円となり、前連結会計年度末に比べ624百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産に含まれる投資有価証券が987百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は32,437百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,571百万円となり、前連結会計年度末に比べ968百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が391百万円減少したことによるものであります。固定負債は3,127百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が60百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,699百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,050百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は23,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,085百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が634百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気動向が業務に与える影響につきましては現在精査中であり、通期の業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた時は、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,713,793	6,505,702
受取手形、売掛金及び契約資産	5,146,297	5,473,584
電子記録債権	1,156,031	1,327,296
商品及び製品	1,646,070	1,640,730
仕掛品	1,637,810	2,024,133
原材料及び貯蔵品	2,641,502	2,540,288
その他	866,119	707,047
流動資産合計	20,807,625	20,218,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,842,344	3,511,907
その他（純額）	4,190,473	3,406,093
有形固定資産合計	7,032,818	6,918,000
無形固定資産	406,527	369,875
投資その他の資産		
その他	4,158,418	4,934,289
貸倒引当金	△3,100	△3,100
投資その他の資産合計	4,155,318	4,931,189
固定資産合計	11,594,664	12,219,065
資産合計	32,402,290	32,437,848
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,516,602	1,550,817
電子記録債務	1,464,606	1,496,762
短期借入金	400,400	380,400
未払法人税等	589,494	198,078
賞与引当金	857,190	477,260
完成工事補償引当金	16,054	16,867
その他	1,695,608	1,451,638
流動負債合計	6,539,956	5,571,825
固定負債		
長期借入金	299,500	239,200
退職給付に係る負債	2,724,129	2,694,492
その他	186,090	194,041
固定負債合計	3,209,719	3,127,733
負債合計	9,749,676	8,699,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,899,597	2,899,597
資本剰余金	579,891	579,891
利益剰余金	18,018,415	18,652,975
自己株式	△172,082	△244,370
株主資本合計	21,325,821	21,888,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500,340	1,047,199
為替換算調整勘定	424,156	377,609
退職給付に係る調整累計額	153,008	148,008
その他の包括利益累計額合計	1,077,505	1,572,817
非支配株主持分	249,286	277,378
純資産合計	22,652,613	23,738,289
負債純資産合計	32,402,290	32,437,848

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	20,201,451	22,008,030
売上原価	15,020,006	16,655,878
売上総利益	5,181,445	5,352,151
販売費及び一般管理費	2,786,447	2,968,041
営業利益	2,394,997	2,384,110
営業外収益		
受取利息	3,047	4,195
受取配当金	58,219	74,297
為替差益	49,661	52,185
保険返戻金	21,515	7,529
その他	106,307	79,377
営業外収益合計	238,752	217,585
営業外費用		
支払利息	2,291	6,594
固定資産除却損	9,053	5,195
自己株式取得費用	9,479	4,399
その他	8,038	6,304
営業外費用合計	28,862	22,494
経常利益	2,604,888	2,579,201
特別損失		
製品改修費用	—	199,781
特別損失合計	—	199,781
税金等調整前四半期純利益	2,604,888	2,379,420
法人税等合計	770,799	680,235
四半期純利益	1,834,089	1,699,184
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,607	19,105
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,816,481	1,680,079

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,834,089	1,699,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,000	556,657
為替換算調整勘定	30,012	△46,547
退職給付に係る調整額	7,795	△4,999
その他の包括利益合計	△15,192	505,110
四半期包括利益	1,818,896	2,204,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,801,324	2,175,391
非支配株主に係る四半期包括利益	17,571	28,903

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、見積実効税率が使用できない一部の連結会社については法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注3)
	産業用配電 機器事業	プラスチック 成形加工事業	金属加工事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,939,121	2,178,597	962,218	121,514	—	20,201,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,907	298,973	1,022,630	190,730	△1,521,242	—
計	16,948,028	2,477,570	1,984,849	312,245	△1,521,242	20,201,451
セグメント利益	3,111,304	22,499	136,464	2,042	△877,312	2,394,997

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラスチック成形加工事業に付随する金型加工やソフトウェア開発等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△877,312千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期 連結損益計算書 計上額 (注3)
	産業用配電 機器事業	プラスチック 成形加工事業	金属加工事業			
売上高						
外部顧客への売上高	18,154,335	2,857,662	926,693	69,338	—	22,008,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,062	349,217	1,063,244	223,370	△1,640,895	—
計	18,159,398	3,206,880	1,989,937	292,709	△1,640,895	22,008,030
セグメント利益	3,140,750	123,655	92,719	12,790	△985,806	2,384,110

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラスチック成形加工事業に付随する金型加工やソフトウェア開発等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△985,806千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	543,531千円	651,316千円

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2026年2月2日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。また、併せて会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。

詳細は、本日(2026年2月2日)公表いたしました「自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式消却に関するお知らせ(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得及び会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却)」をご覧ください。